

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒小学校 ）



実施日 及び 実施期間	平成30年11月1日（木）～11月30日（金）
実施内容	<p><b>タイトル「本をたくさん読もう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○全国読書週間に合わせ、生駒小学校では11月を「読書月間」と位置付け、子どもたちに読書を奨励している。（本年度11月1日～11月30日）</li><li>○「お話会」開催 学校司書との連携 読書月間に合わせて、低学年2回、高学年2回昼休みに実施。</li><li>○図書委員会の取組<ul style="list-style-type: none"><li>① 「わくわく読書カード」の活用 低学年用（1～3年）高学年用（4年～6年）の2種類のカードを作成する。 低学年5冊、高学年7冊読破の奨励を行う。高学年には、図書分類1～9各分野の本を読むことの奨励も合わせて行う。</li><li>② 「手作りしおり」プレゼント より多くの児童に本を読んでもらうため、図書委員会では全校一人一枚ずつしおりをプレゼントした。</li><li>③ 低学年への読み聞かせ 月1回程度、朝学習の時間に図書委員会の児童による読み聞かせを実施。</li><li>③ おすすめの本の紹介 あらすじやイラストを交えたおすすめの本の紹介カードを委員会の児童が一人一枚作成し、図書室前に掲示した。</li></ul></li><li>○としょक्सさんの活動 水曜日朝の読み聞かせの他、月2回程度木曜日の中休みに低学年図書室で絵本の読み聞かせを行っている。</li></ul>
児童生徒の様子	<ul style="list-style-type: none"><li>・読書カードに借りた本を記録することで、意欲が高まり、2枚目以降の読書カードにも記録する児童がいた。</li><li>・「読書月間」の「手作りしおり」は、毎年図書委員会が取り組み、全校児童の本への関心が高まるよう、工夫して作り上げている。</li><li>・読書月間中のお話会は、100人を超える児童が参加した。委員会の子どもたちも、大いにやりがいを感じ、進んで活動していた。</li></ul>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<ul style="list-style-type: none"><li>・図書室を利用する児童が増えた。また、様々なジャンルの本を読むようになった。</li><li>・図書の日以外に、調べもの学習等で図書室の本を利用する機会が増えた。</li></ul>

# 「読書週間（10/23～11/2）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒南小学校 ）



実施日 及び  
実施期間

平成30年10月23日（火）～11月2日（金）

実施内容

## タイトル「南小ブックフェスタ」

### ●図書委員会の活動

・図書室にある本をベースにした図書室クイズを低・中・高学年別に考え、全校の児童にクイズに挑戦してもらった。

・委員会で読み聞かせの練習をし、読書タイムに1～4年の各クラスへ出張読み聞かせを行なった。

### ●教師の活動

・低学年を中心に、読書タイムに担任による読み聞かせ（年間）

・先生方のおすすめの本コーナーを設置

### ●保護者の方による読み聞かせボランティア

・読書タイムに各クラスでの読み聞かせ（年間）

### ●図書館司書の活動

・図書時間に読み聞かせ（低学年）

・図書室だよりの発行 ・図書室の環境整備

・「おすすめの本棚」の掲示

全校児童から、「あなたのおすすめの本」を募集し、掲示した。

●11月を読書月間として位置づけ、11月中は一人2冊貸し出しできるようにした。



児童生徒の様子

・運動会が終わり気持ちも落ち着いて、図書室に児童が戻ってきた。

・図書室クイズの答えを求めて、本を手にとる姿が多く見られた。クイズには125名の参加があった。

・担任の先生やよく知っている先生のおすすめの本を手にとる姿があった。



取組後の変容

（子ども・家庭・教師）

・ブックフェスタのイベントに惹かれて図書室に来て本を手にとる子どもが増えた。

・子ども達同士で、お気に入りの本を友達に勧めるなど、読書への興味が高まった。

・図書室だよりをみて「先生方のおすすめの本」に興味を持ち、おうちの方が子どもを通して学校の本を借りることがあった。

・学校司書の先生が、子どもたちに本の楽しさを教えてくれることで、本をあまり読まなかった児童が本を手にとり、「これなら読んでみたい」と感じるようになった。

備考

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒北小学校 ）



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ **生駒市立生駒台小学校** ）



実施日 及び  
実施期間

平成30年10月25日（木）～11月15日（木）

実施内容

## タイトル「読書でビンゴ」

図書室には、本がいっぱい。普段はあまり読まないような本も全校のみんなに読んでもらおうと、図書委員会の子も達が考えたのは、「読書でビンゴ」の取り組みでした。



図書委員が作ったビンゴカードには、9つのマスにそれぞれ「昔話」「秋にかかわる本」「伝記」などジャンルが書かれています。

低・中・高学年ごとにカードが違い、書かれているジャンルも違います。そのカードをもとに図書室の中から本を選び、読んだ本のタイトルを書きこみます。

たて、横、ななめのいずれか3列ビンゴになったら、図書委員の手作りしおりがプレゼントされました。



児童生徒の様子

「食べ物の本って、どこに置いてあるのかな。」と図書委員に聞きに来たり、図書室の表示を見ながらビンゴカードの本を探したりする姿が見られました。図書委員作成のしおりも人気で、プレゼントを楽しみに図書室へ本を借りに来る人で、毎日いっぱいでした。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

低学年の子ども達も、図書室にある表示を見て本を探す姿が見られるようになりました。今まであまり借りたことのない本棚から本を借りるようになったという声が届きました。

備考

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒東小学校 ）



# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立真弓小学校 ）



実施日 及び  
実施期間

平成30年11月8日(木)～11月30日(金)

実施内容

## 1. 「本読もキャンペーン」

図書委員会の活動を中心に約1か月間キャンペーンを行う。

◎本の感想を用紙に書いてもらい、書いた枚数や内容によって選ばれた児童にプレゼントを渡すことにした。今年のプレゼントは、本を読みやすくする『リーディングトラッカー』。

- ① 図書委員会から、「本読もキャンペーン」について全校朝会で連絡する。
- ② 本を読んだ人は、図書室カウンターで感想メモをもらい、感想を書く。
- ③ 書いたメモを図書室カウンター前のポストに入れる。図書委員はそれを廊下の模造紙に貼る。
- ④ 図書委員会児童がリーディングトラッカーを作る。
- ⑤ 12月初旬の図書委員会で感想メモを読み、参加枚数や内容によって、プレゼントする子を決める。リーディングトラッカーは図書便りを各クラスに配布する際、一緒に渡す。

## 2. 「『おすすめの本』ひろば」

だれもが自分の『おすすめ本』を展示できる場所を開設する。

◎ “おすすめポイント” を紹介カードに書いて表紙に貼り、展示する。

『ひろば』に展示してある本を借りる時は、代わりに自分のおすすめ本を展示する。



児童生徒の様子

本読もキャンペーンの開始初日、100枚を超える感想メモがポストに投函された。

休み時間の図書室では、読んだ本を片手に感想メモを書く児童が多数見受けられる。



取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

廊下の掲示物を見て友だちと本について話したり、本を選ぶ時の参考にしたりしている。

備考

学校行事の都合上読書週間の取組は、11月上旬から行っている。

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立俵口小学校 ）

実施日 及び  
実施期間

平成30年10月29日（月）～11月9日（金）

実施内容

## タイトル「おすすめ本がありますよ」



10月の全校集会で恒例の図書委員からの、ビブリオバトル式の本紹介を行った。それをきっかけにたくさん本を借りてくれるので、今年は、全校児童で本を紹介してみようという取組をした。

全クラスに、画用紙のカードを図書ボランティアの方の力も借りて用意して配布する。



図書の時間や空き時間などを利用して、低学年は本のタイトル、中学年は書ければその本のおすすめポイントを、高学年は必ず書いてもらうと決めて提出してもらった。



読書週間開始とともに、図書室の中も外も本紹介のカードでいっぱいになった。器用な児童も高学年には多く、色を付けたりデザイン的に優れた本紹介を作成してくれていた。

児童生徒の様子

いつも読書週間の2冊貸し出しを心待ちにしているようで、朝から本を借りに来る児童でいっぱいである。毎日150冊から200冊の貸出があり、蔵書が減って空きの棚が出来る。

低学年から本が好きな児童が多いが、高学年の本の紹介文などで改めて、読書力の伸びや学年にあった本を選ぶ力が、個人個人についてきているのがわかり、全校で取り組んでよかった。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

図書室に来てくれる児童が増え、他の人がおもしろい！よかったという本を自分から積極的に探したり、聞きに来てくれるようになった。

何を讀んだらいいか迷っている様子が1学期にはあったが、本を讀んで夢中になる楽しみが出来つつあるようである。

備考

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立鹿ノ台小学校 ）



実施日及び  
実施期間

平成30年10月27日（土）～11月9日（金）

実施内容

## タイトル「鹿ノ台小学校読書週間」

### ○教師による読み聞かせ

11月2日（金）

8:30～8:45

読書週間の標語「ホッと一息 本と一息」に即した図書を選定し、教師による読み聞かせをおこなった。作者の紹介や内容に関連したトーク、体験や経験の想起をうながす問いかけ等もおこない、担任以外の教師による、読み聞かせ充実のための工夫がみられた。

### ○読み聞かせの図書

『うしはどこでも「モ～！」』『おふるだいすき』『ねずみのいもほり』『せんたくかあちゃん』（以上、第1学年）『ものすごくおおきなプリンの上で』『タンタンのズボン』『ふしぎなナイフ』『としょかんのよる』『ほね』『すばこ』（以上、第2学年）『王さまライオンのケーキ』『おしっこちょっぴり もれたろう』『サイモンはねこである』『ふたりは王さま』（以上、第3学年）『アルバートの感謝祭』『おとうさんはウルトラマン』『鳥の巣いろいろ』『女王さまのぼうし』『あれこれたまご、デザインあ』（以上、第4学年）『ふしぎなともだち』『いつもちこくのおとこのこ』『ニングルの森』『めっきらもっきらどおんどん』（以上、第5学年）『このよでいちばんはやいのは』『ぼくは満員電車で原爆を浴びた』『どうぶつさいばん ライオンのしごと』『ライフタイム』『光の旅・かげの旅』『めでたしめでたしからはじまる絵本』（以上、第6学年）



児童生徒の様子

児童が「いつお話会？」と聞く様子もみられ、読み聞かせの日を待ち遠しく思っているように思われた。読み聞かせの時間はメリハリのある態度をみせていた。おもしろいところでは大いに笑い、聞くところでは静かに集中していた。また、担任以外の教師たちとの交流を楽しんでいる部分もあった。

<p>取組後の変容 (子ども・家庭・教師)</p>	<p>現在のところ、年に1回の取組であるが、本（図書）に親しむことのできる大切な時間となっている。読み聞かせで紹介した図書をインターネット等で調べる子どもも出てきて、少なからず、今回の取組が読書のきっかけになっていることだろう。</p> <p>教師についても2週間前から読み聞かせの準備をしており、その楽しみを感じているようである。学年に応じた図書を選定したり、図書室に足を運んだりすることを通して、教師一丸となって読書を推進できればと思っている。</p>
<p>備考</p>	<p>特になし</p>

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立桜ヶ丘小学校 ）



実施日 及び  
実施期間

平成30年10月31日（水）～11月30日（金）

実施内容



## タイトル「読書の秋キャンペーン」

- ・朝の集いで、図書委員会から「読書の秋キャンペーン」のお知らせをした。「読書の秋」にちなんで、自分の好きな本、おすすめの本を、本の紹介カードに書いてもらった。全校児童分が集まったので、図書室前の掲示板に掲示している。こうして、おすすめの本を全校で共有することができる。今年度は、期間中に本を2冊借りられるようにした。
- ・図書室に「読書の秋」の飾り付け、校内には読書週間と2冊貸出のポスターを掲示して、読書週間の環境を整えた。
- ・読書週間にあわせて新しい本を用意した。コーナーを作り、図書室前廊下には本のカバーを掲示して紹介している。新たな本との出会いの場とした。

児童の様子



全校児童が、本の紹介カードを書いた。おすすめの本の題名、高学年はあらすじやおもしろかったところを書いている。カードにぎっしり書き込んだ子もいる。国語で今勉強している作品を書いたり、図書室の本や自分が持っている本を書いたりしていた。

1年生は初めての読書週間2冊貸出に大喜びで、毎週本を2冊借りている。

（1年生：栗、2年生：柿、3年生：うさぎ、4年生：さんま、5年生：月、6年生：もみじ）

取組後の変容

（子ども・家庭・教師）



本の紹介カードが掲示されると、足をとめて眺めている。自分のカードを見つけると、うれしそうにしている。その本について話をしている子もいる。「読書の秋キャンペーン」は、子ども達と本とをつなげる取組となっている。

先生方も、紅葉みたい、スイミーだと言いながら見て下さっている。

備考

期間中、1年生の図書の時間に、大型モニターを使って読み聞かせを行った。初めての試みだったが、子ども達は大きな画面の絵にひきつけられ、1冊の絵本を楽しんだ。



# 「読書週間（10/29～11/12）」の取組



学校名（ **生駒市立あすか野小学校** ）

実施日 及び  
実施期間

平成30年10月29日（月）～11月12日（月）

実施内容

## タイトル「絵本の読み聞かせ（いつもと違う先生がやってきた！！）」

実施日10月29日（月）、11月12日（月）の朝の学習の時間15分間を利用して、担任以外の教師が1～6年の教室に出向き、本や紙芝居の読み聞かせやブックトークを行いました。読み聞かせをする教師が、自分のお気に入りの本を自由に選びました。



（本の一例）



もうぬげない  
ぜったいあけちゃダメ！  
光の旅かげの旅  
バナナじけん

児童生徒の様子

どの先生がくるのかな、どんな本を読んでもくれるのかなと、子どもたちはうきうきわくわくした気持ちで待っていました。お話が始まると本の世界に入りこみ、キラキラした目で聞き入っていました。

取組後の変容  
（子ども・家庭・教師）

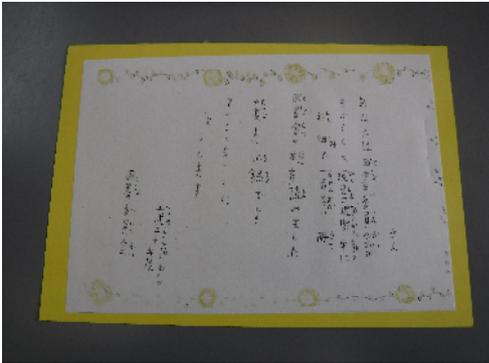
読み聞かせ実施後、図書室を利用する児童が増えました。また、普段読まないジャンルの本を借りるようになり、読書の幅が広がったようです。

備考

# 1 「読書週間（10/27～11/9）」の取組



学校名（ 生駒市立壱分小学校 ）

実施日 及び 実施期間	平成30年10月29日（月）～11月30日（金）
実施内容	<p style="text-align: center;"><b>タイトル「本をたくさん読もう」</b></p> <p>読書週間をきっかけにみんなにもっと本を読み、親んでもらうためにどんなことができるかを図書委員会で話し合い、次のことが決まった。</p> <p>①読書週間のポスターを貼る。</p> <p>②貸し出し冊数を2冊にする。 普段は一週間1冊の貸し出しを2冊にする。 11月の貸し出し数の多い児童、各クラス5名に図書委員手作りのしおりを贈る。</p> <p>③全学年 希望者に図書委員体験をしてもらう。 初めての試みである。各クラス5名を募り、パソコンを使っての貸し出し、返却の操作や本の整理、来室人数をカウントする、などを体験する。</p> <p>④「読書貯金」を引き続きすすめる。 6年生は上記のことに加え、読書王大会と名付け、どのクラスが一番本を読んだかを競い、読書に親しんでいる。</p>
児童生徒の様子	<p>ポスターで知らせた事で2冊貸し出しを楽しみにしていた児童が多かった。</p> <p>図書委員体験では400名以上の希望があり、抽選となった。体験の感想として、「楽しかった」はもちろんだが、「本の整理が大変だったのでこれからはもっと本を大事にして、気をつけていこう」など体験して初めて気づくこともたくさんあった。</p>
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	<p>2冊貸し出しにしたことで、図書館来場者数がふえた。文学だけでなく、科学などのジャンルの貸し出しも増えた。2冊貸し出しも一週間で返却のため、朝の読書タイムや中休み、昼休みに今まで以上に集中して、読書をする児童が増えた。</p> <p>6年生の読書王大会もクラスの冊数を廊下に掲示してあるので、競いながら積極的に読書をする様子がみられた。</p> <div data-bbox="403 1570 892 1933"></div> <div data-bbox="919 1570 1407 1933"></div>
備考	

# 「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（生駒市立生駒南第二小学校）



実施日 及び  
実施期間

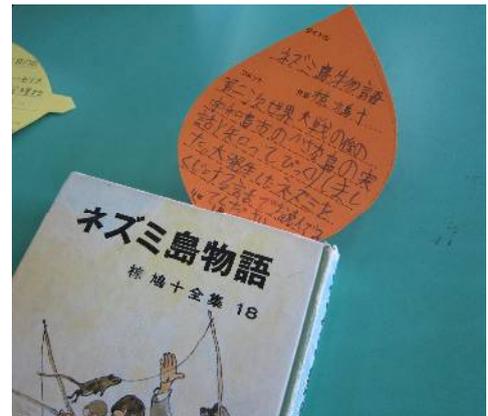
平成30年10月25日（木）～11月9日（金）

実施内容

## タイトル「読書の木を育てよう」

○読書紹介カードの取組（全校）

・授業で図書室へ行く時間を利用して、おすすめの本の紹介カードを作る。  
カードを作ることによって、本の魅力を再確認し、また、他の子のカードを目にすることによって自分が知らなかった本の魅力を発見して色々な本を読んでみようという意欲につながるようになる。



○本の人気シリーズのアンケート・本の紹介（図書委員会）

・図書委員会による企画で、本のシリーズの人気調査アンケートを実施して、発表し、色々な本に興味を持ってもらうようにする。  
・各学年に合ったおススメの本を図書委員の児童が選んで、朝の時間を利用して各学級に紹介に行く。

児童生徒の様子

・紹介カード作りは、みんな熱心に取り組んでいた。  
・掲示したカードをじっくりと見る児童や、紹介した本を積極的に借りに来る児童が何人か見られた。

取組後の変容  
(子ども・家庭・教師)

企画前は、休み時間に図書室に来る児童が2・3人しかいない状況だったのが、企画を実施したことで図書室に来る児童が増えた。カードを掲示していることで、本を選ぶ時の参考にしている姿も見られた。子どもたちの読書意欲が低下してきている中、読書意欲向上につながる企画を実施することができたと思う。

備考